

：はじめに：

近年、富山市の農業は担い手の減少と高齢化による人手不足によって耕作放棄地が増大し、農業生産力が低下するなど深刻な状況になっていきます。

一方、非農家の市民の方々の中には、農作業を体験してみたい、自分が作った新鮮な野菜を食べたいなど農業に係わりたいという方が多くなってきています。

このように、農家が抱える問題と市民の皆さんの『農』に対する思いを結びつけるため、平成20年度に『とやま楽農学園』を開講いたしました。

当学園では、農業サポーターとして活動し農家を支援したい方や、将来就農し農作物を生産したい方を対象として実践的な農作物の栽培研修を行い、農業の新たな担い手の育成に努めております。

ぜひ皆さんも講義や実践研修を通じて、栽培に関する知識を深めながら農業にチャレンジしてみませんか？

実践研修風

野菜講座



小カブの間引き作業

花き講座



小菊の下葉かき作業

果樹講座



梨の摘果作業

水稻講座



田植え作業

：とやま楽農学園 受講者募集内容：

農業サポーター養成コース			
コース名	農業サポーター養成コース		
募集対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・農業サポーターとして活動し、市内の農家をサポートできる方 ・新たに農業に就きたいとお考えの方 		
研修期間	2年間		
募集区分	野菜講座	果樹講座	花き講座
定員	40名 (午前の部20名) (午後の部20名)	20名	20名
研修内容	野菜の種まきから収穫までの栽培技術の習得	梨とリンゴ等の栽培技術の習得	切り花等の種まきから収穫までの栽培技術の習得
研修回数 (年間)	午前・午後の部 ともに16回	14回	14回
資料代等 (年間)	主に火曜日の午前・午後後に開催 5,000円程度	主に木曜日の午前中に開催 4,500円程度	主に月曜日の午前中に開催 3,000円程度
受講方法	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の講座を受講できます。申し込みの際、希望順位を書いて下さい。(応募多数の場合、ご希望の講座や複数の講座が受講できない場合があります) 		
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・応募多数の場合は書類選考で受講者を決定いたします。 		
研修スタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は、講義と実践活動を並行して行います。 ・研修の時間は午前9：30～11：30の約2時間です。〔野菜講座の午後の部は13：30～15：30です〕 ・野菜・花き・水稻講座では、営農サポートセンターで実際に栽培していただきます。 ・果樹講座では境野地区や池多地区で梨やリンゴの研修をします。 ・研修日以外の日でも自主的に作業していただきます。 		
募集期間	平成22年1月20日(水)から2月28日(日)まで (必着)		
応募方法	<p>①申込書で申し込む場合：所定の申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで営農サポートセンターへ。 ②Eメールで申し込む場合：富山市および営農サポートセンターのホームページ(HP http://esc-toyama.net)から申込書をダウンロードし、営農サポートセンター(Eメールアドレス：einousapotosenta@city.toyama.lg.jp)へ。</p> <p>※申込書は、営農サポートセンター、富山市役所総合案内、各地区センター、各総合行政センターの市民生活課・市民福祉課・農林商工課・産業建設課にあります。</p>		
応募先	富山市営農サポートセンター 〒939-8132 富山市月岡町三丁目101番地 Tel076-429-4504 Fax076-429-2449		
結果の発表	<ul style="list-style-type: none"> ・応募の結果は、郵送にて本人に通知します。 ・『農業サポーター』とは、農繁期に農家から農作業の要請があった場合、支援できる方をいいます (有償)。 		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・農業サポーターとして活動できない方や家庭菜園目的の方はご遠慮ください。 ・途中で受講できなくなった場合でも、資料代等の返還はいたしません。 ・研修の開始は、平成22年4月からを予定しています。 		

応募の締切日は、平成22年2月28日(日)です(必着)。
 なお、家庭菜園コースの募集は3月下旬頃を予定しております。